

第 63 回日本核医学会学術総会
第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会

Work in Progress のご案内

2023年11月16日（木）～18日（土）

グランフロント大阪

コングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB

(大阪府大阪市北区)

第63回日本核医学会学術総会
会長 細野 眞
(近畿大学医学部放射線医学教室 教授)

第43回日本核医学技術学会総会学術大会
大会長 木田 哲生
(滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)

第 63 回日本核医学会学術総会 開催にあたってのお願い

このたび、第 63 回日本核医学会学術総会の会長を務めさせていただくこととなりました。

会期は 2023 年 11 月 16 日 (木) から 18 日 (土)、会場はグランフロント大阪のコングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB です。多くの交通機関が乗り入れる大阪梅田地区に位置し全国どこからご来場いただく方にもアクセス良好です。現地に加えて Web 配信も実施するハイブリッド形式の開催を予定しています。

第 63 回日本核医学会学術総会は、国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長の木田哲生先生が大会長を務められる第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会との合同の開催となりますので、力を合わせて準備を進めています。

テーマは「核医学の学びと創造 - 皆が主人公！」(Learn and Create Nuclear Medicine - Everyone is the Heroine/Hero!) としました。皆様おひとりおひとりが主人公となって核医学の学びを楽しみ、そのパワーが新しい核医学の創造につながっていくような学術総会にしたいと思っています。

私たちがいま暮らしている現在は核医学が目覚ましく進歩している時代です。腫瘍核医学の分野では核医学治療として神経内分泌腫瘍に対するルテチウム-177DOTATATE (ルテチウムオキソドトロチド) と褐色細胞腫・パラガングリオーマに対するヨウ素-131MIBG が 2021 年に相次いで承認されました。α 治療としてラジウム-223 が 2016 年に承認され、それに続く α 治療の開発に大きな力が注がれています。なおルテチウム-177DOTATATE の導入にあたって一般病室の個室を特別措置病室として用いる医療法施行規則の改正がなされたり、診療報酬のうえで放射線治療病室管理加算に配慮されたり、制度の整備が大きく進みました。心臓核医学では FDG のサルコイドーシスや大型血管炎、ピロリン酸や HMDP の心アミロイドーシスへの保険適用ができるようになり、半導体 SPECT が画像の鮮明度を飛躍的に高めました。脳核医学では認知症の治療薬に期待が集まる中、アミロイド PET 製剤が承認されて近い将来の保険適用を待っています。

さて会期に先だって国際放射線防護委員会 ICRP の第 7 回国際シンポジウム (ICRP 2023) が日本がホスト国となって 2023 年 11 月 6 日 (月) ~9 日 (木) 東京お台場で開催され、世界中から専門家が来日します。ICRP の活動の大きな柱のひとつは放射線医療の発展と安全ですが、私は 2017 年から ICRP 第 3 専門委員会 (医療分野) 委員を務めており、大阪でサテライトイベントを開催する計画です。

ちょうどグランフロント大阪周辺は大規模な再開発プロジェクトが進捗する真最中で、発展しつづける核医学の学術総会をお招きするに相応しいロケーションです。開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2022 年 11 月吉日

第 63 回日本核医学会学術総会
会 長 細 野 梶
(近畿大学医学部放射線医学教室 教授)



第43回日本核医学技術学会総会学術大会 開催にあたってのお願い

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

僭越ではございますが、この度、第43回日本核医学技術学会総会学術大会の大会長を拝命いたしました。会員の皆様、関連企業ならびに関係の皆様に謹んでご挨拶とご案内を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、平素より本学会を通じて核医学診療における検査技術の開発や精度向上のための研究や技術の普及・啓発にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。また、関連企業や各種団体各位におかれましては、核医学診断装置や計測機器・医薬品をはじめ、防護設備や周辺機器の開発や提供など、大きく核医学診療を支えて下さり、そのご支援に心より感謝申し上げます。

第43回日本核医学技術学会総会学術大会は、近畿大学医学部放射線医学教室教授の細野 眞先生が大会長を務められます第63回日本核医学会学術総会と合同で、2023年11月16日(木)～11月18日(土)までの3日間、大阪の玄関口、大阪駅直結のグランフロント大阪のコングレコンベンションセンターと隣接する、カンファレンスルーム タワーBを会場に開催することが決定しました。また、ICRP2023のサテライトイベント、アジア核医学技術学会(ASNMT)学術集事も会期中に開催される予定です。

2019年に発生したCovid-19は、それ以降、次から次へと寄せる感染の波により、2022年には世界で累計6億人を超す感染者に達し、経済や文化交流・医療の他、日常生活に至るあらゆる方面に影を落としています。そんな状況下でも、第40回大会以降、大会関係者のご尽力により、工夫された開催形式にて学術大会を停滞させることなく引き継がれてきました。この間、多様な学術参加が定着してまいりました。43回学術大会も会場と離れた地からも学会参加が可能となるように準備をしております。

本学術大会のテーマは「核医学の学びと創造 - 皆が主人公！」です。会員の皆様のおひとりおひとりが核医学の学びを楽しみ、そのパワーを新しい核医学の創造に繋げるというシナリオの主人公になって頂き、そのシナリオ的一幕として本学術大会へご参加いただきたい思いを込めております。

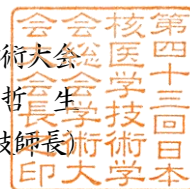
開催にあたりましては、諸経費ご多端の折、是非とも各社様のご賛同を賜りたく、何卒、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

2022年11月吉日

第43回日本核医学技術学会総会学術大会

大会長 木田 哲生

(滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)



開催概要

■学会名称： 第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会

■会長： 細野 眞 (近畿大学医学部放射線医学教室 教授)

大会長： 木田 哲生 (滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)

■会期： 2023年11月16日 (木) ~ 18日 (土)

■テーマ： 核医学の学びと創造 - 皆が主人公！

Learn and Create Nuclear Medicine - Everyone is the Heroine/Hero!

■会場： グランフロント大阪

コングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館

■参加予定数：約2,000名

■参加対象者：核医学・放射線関連分野に携わる臨床・基礎医師、診療放射線技師及び医師・薬学関係者、基礎研究者

『企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針』 (透明性ガイドラインについて)

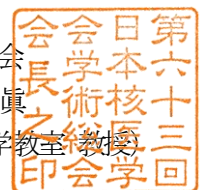
本会は、日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会の団体が定める「企業活動と医療機関等との関係の透明性に関する指針 (透明性ガイドライン)」をはじめとする関係諸規範およびその精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業方針を理解し、協賛会社による本会の拠出金額等の情報開示に同意します。

2022年11月吉日

第63回日本核医学会学術総会

会長 細野 眞

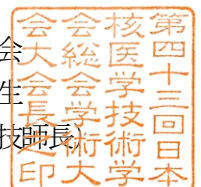
(近畿大学医学部放射線医学教室 教授)



第43回日本核医学技術学会総会学術大会

大会長 木田 哲生

(滋賀医科大学医学部附属病院放射線部 診療放射線技師長)



1. Work in Progress 開催概要および広告協賛 募集要項

- 開催日時：11月16日（木） 午後開催予定
- 会場：グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター・カンファレンスルーム タワーB
(300席程度の会場を予定。座席数は増減の場合があります。)
- 内容：核医学装置、機器等の開発に関する学術的内容（仕様、性能、有用性など）の紹介
- 広告媒体名：第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会 プログラム集
- 配布対象：第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会 参加者・関係者
- 部数・版型：約5,000部（予定） / B5サイズ
- 発行予定日：学会当日
- 制作費：3,260,000円（消費税10%含む）
- 募集社数：5社（予定）
- 申込金額：1,760,000円（消費税10%含む）
- 広告掲載料：広告B5 後付4頁（カラー） 352,000円（消費税10%込）
※Work in Progress 参加費用含む
- 広告原稿：印刷用データ（イラストレーターもしくはPDF）をお願いいたします。
- お申し込み方法：本学術総会・大会ホームページからオンラインでお申し込みください。
<http://www.congre.co.jp/jsnm-jsnmt2023/>
お申し込み受理後、運営事務局よりご連絡いたします。お申し込み後1週間経過しても連絡がない場合は、大変お手数ですが運営事務局までお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- その他：7月初旬頃までに講演テーマ、演者等、プログラム内容をご決定ください。お申し込みいただきました順番・内容等により調整させていただきますが、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。
- 申込期日：2023年6月12日（月）
- 版下送付期日：2023年6月30日（金）
 - ※ 広告は完全版下（紙焼き版下・CD-R）で納品ください。学会名を明記のうえ、運営事務局まで宅配便にてお送りください。当方での版下作成はいたしません。
 - ※ データ入稿について：イラストレーターのVer. はCS3 以下にてお願いいたします。

2. お支払い方法

確定後、請求書をお送りいたしますので、下記の銀行口座へお振込みください。
なお、振込手数料は貴社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。

金融機関：りそな銀行

支店名：泉北支店（支店コード：227）

口座種別：普通

口座番号：0457787

口座名義：第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会

(か：ダ`イロクジ`ユサカニホカク`カク`カク`クジ`ユツウカイ`ダ`イソジ`ユサカニホカク`カク`クジ`ユツウカク`カク`カク`カク`ユツウカイ)

※ 上記銀行口座は第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会共通の口座となります。

※ 口座名義入力文字数に上限がある場合は、上限文字数までご入力をお願いいたします。

3. お問い合わせ

■運営事務局： 第63回日本核医学会学術総会・第43回日本核医学技術学会総会学術大会
運営事務局 担当：上原／半田／清野
〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 (株)コングレ内
Tel：06-6229-2561／Fax：06-6229-2556 E-mail：jsnm-jsnmt2023@congre.co.jp

